

（団体名を記載）株式会社オリエンタルコンサルタンツ

【分野】 **道路 / 橋梁 / 公園** / 上下水道 / 河川 / 港湾 / **遊休施設** / その他（ ）

（提案タイトルを記載）『ローカル・リノベーション ～賑わいと安全・安心の両立へ～』

【手法】 **コンセッション** / その他のPFI / **包括的民間委託** / その他（ ）

自治体が保有する**遊休不動産・観光資源及び公園**などへの**スモールコンセッション**等の導入と**インフラ（道路・橋梁等）の維持管理**を対象とした**ECI方式（田原本仕様）の導入**による自治体キャッシュフロー改善を図り、**ソフト・ハードの両立による『ローカル・リノベーション』を提案**します。

①提案によって解決する地方公共団体が抱える課題イメージ

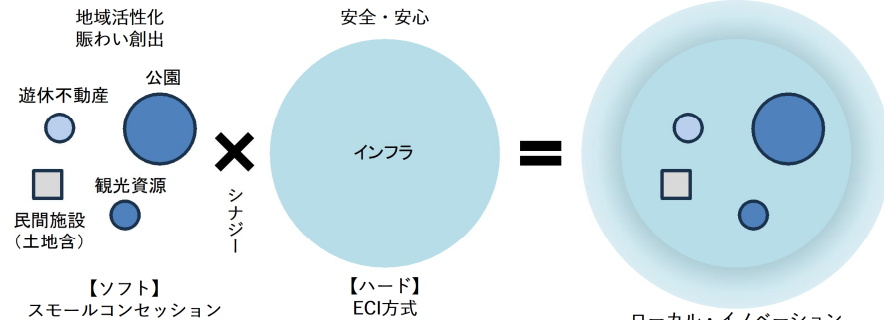
【解決可能な課題】：人口減少が急速に進み、**財政状況が厳しい自治体**に対し、**ソフトとしてのスモールコンセッション等の導入による歳出抑制・歳入強化**と、**ハード（インフラ）へのECI方式導入による歳出抑制**（歳出平準化含）に基づく**自治体キャッシュフローの改善**、**地域活性化・賑わいの創出と安全安心確保によるエリア価値向上**。  
 【想定する対象自治体】：**人口10万人程度** / 対象となる**遊休不動産・観光資源・公園等を保有**し、**道路・橋梁などのインフラの維持管理に課題を抱える自治体**  
 【官民連携事業の対象規模】：特に限定はしません（ソフト・ハードともに適用可能範囲であれば）

②提案の概要

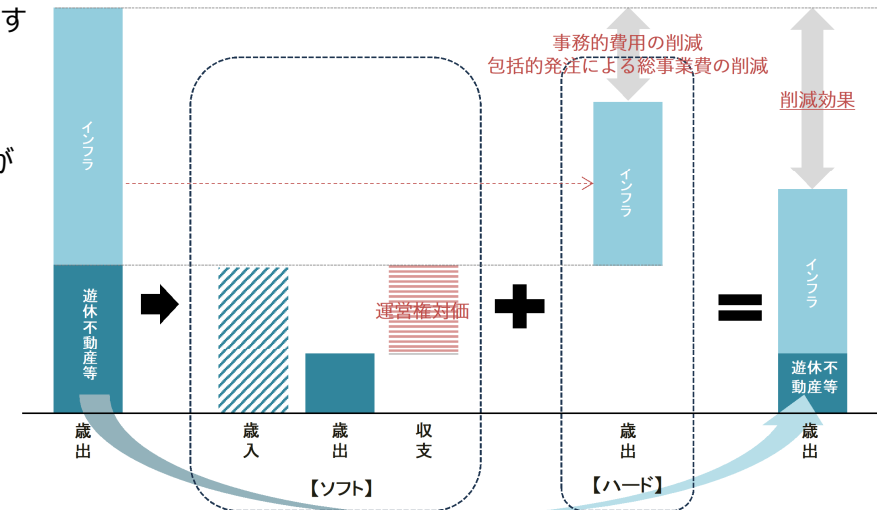
■ **提案の概要**：ソフト事業として、自治体が保有する遊休不動産・観光資源及び公園等へのスモールコンセッション等の導入による歳出抑制・歳入強化と、官民連携事業による地域活性化・賑わいの創出。また、ハード事業として、道路や橋梁等のインフラの維持管理に対するECI方式（田原本町仕様：R5シーズ（IS-17、18））の導入による歳出抑制（歳出の平準化含）。ソフト・ハードの併用による自治体キャッシュフローの改善を図る事業です。

■ **提案の新規性**：上述の通り、**ソフト（収益）とハード（非収益）を組み合わせ、その結果として地域活性化・賑わい創出と安全・安心の両立を図る点**。

■ **提案の導入条件**：事業導入にあたっては、**事前のFS調査（導入可能性調査）が必要**となります。調査の結果、導入効果が発現する等が確認された後の導入となります。必要に応じて、トライアルサウンディングまたは実証実験等を実施し、検証等を経ての導入も想定されます。スモールコンセッション導入にあたっては、**地域金融機関との連携（協議調整）も必要**となります。**小規模事業におけるプロジェクトファイナンスなどの、個別のファイナンススキームを検討する必要**が考えられます。



図\_ハードとソフトの組み合わせイメージ



図\_自治体キャッシュフローの改善イメージ

③課題解決のイメージ・効果

■ **得られる効果**：

- ① **自治体**：保有するアセットの有効活用と地域住民の安全安心 / 歳入と歳出のバランスによるキャッシュフローの改善 / 地域経営への住民参加や機運の醸成 など
- ② **地域企業**：新たな事業機会の創出 / 雇用の創出 / 地域金融機関による新たな融資機会の創出 など
- ③ **地域住民**：新たなサービスの享受 / 新たな雇用機会 / シビックプライドの醸成 など

その他

■ **参考実績**：

- ① **ECI方式実績**：R5年度シーズ（IS-17,18：田原本町仕様）
- ② **スモールコンセッション類似実績**：公共不動産活用（指定管理）と民間事業（酒造事業：地域産業の継承）の組み合わせによるエリア価値向上